

## 「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

■弊社は、IT実装支援の一環として「各帳票の電子化」「WEB活用に対するサイバーセキュリティ対策【SECURITY ACTION自己宣言】を基本とし取引先へ支援」を実施いたします。また「電子取引（EDI）」「働き方対策（勤怠管理）支援」を弊社組織（「SE」及び「インストラクター」また「営業」）部門と共に、お客様のDX化へのサポート役として、IT実装推進を進めてまいります。

#### ①・セキュリティ強化のサポート

当社はサイバーセキュリティ対策として、ファイアウォール・UTM及びエンドポイント等のセキュリティ機器の提案・促進をしてまいります。

#### ・定期的な診断サービスの提供

以上のサービスを通じ、お客様のセキュリティ向上をサポートしてまいります。

#### ②・個別コンピュータスキルアップ指導の提供

・バックオフィス・情報共有・顧客情報管理等の業務IT化により、

お客様の労働生産性向上・残業時間の削減・ペーパレス化を支援してまいります。

### 2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行のは正に積極的に取り組みます。

#### ①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

#### ②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

#### ③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

#### ④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

### 3. その他（任意記載）

今後もITを通じ、お客様のDX化を進めるうえで、環境・ノウハウの提供を行い、併に時代の変革に対応できるようサポート役として貢献してまいります。

2025年10月15日

株式会社フロンティア

代表取締役 生畠目 友一